

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ソフト99東大阪物流センター	階数	地上4F
建設地	大阪府東大阪市高井田19-9	構造	S造
用途地域	工業地域。法22条区域。公共下水道	平均居住人員	20 人
気候区分	5地域	年間使用時間	6,132 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年4月28日
敷地面積	1,765 m <sup>2</sup>	作成者	中川 元一
建築面積	1,014 m <sup>2</sup>	確認日	2016年4月28日
延床面積	3,742 m <sup>2</sup>	確認者	中川 元一

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

音環境	2.5
温熱環境	3.0
光・視環境	3.3
空気質環境	2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	3.0
耐用性	3.1
対応性	3.4

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.3

地球温暖化	3.7
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地内に消防活動空地及び緑地を多く設けたので、敷地内に駐車台数が数台しか取れず、必要な駐車台数は屋上に計画した。	0
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆の建材を使用し科学汚染物質の発生を抑制した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 可能な限り植込を設け草木を植樹した。
<b>LR1 エネルギー</b> 各所にLED照明を採用し、エネルギー効率化を行った。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車場を設けた
<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理において管理しやすい外壁材、床材を使用した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0022

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)ソフト99東大阪物流センター					
		建設地	大阪府東大阪市高井田19-9					
		用途/区分	工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	3	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.0		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								